



2025年3月26日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号：4588)
問 合 せ 先 執 行 役 員 秦 耕 平
(TEL.03-5472-1578)

腫瘍溶解ウイルス OBP-301 の投与方法に関する 用法特許の特許査定のお知らせ

当社が出願していた「腫瘍溶解アデノウイルスの投与方法に関する用法特許」が、日本国内で特許査定を受けましたので、お知らせいたします。今後、特許査定に基づき特許料の納付を行い、本特許権は成立する見込みです。

本特許は、OBP-301 を内視鏡で投与する際に安定した治療効果を発揮するために必要な用法をカバーする特許です。日本や米国などで実施した食道がん・胃食道接合部がん・胃がんなどの臨床試験などでは、内視鏡を用いて本特許の方法で OBP-301 を投与した実績があります。

本特許の成立により特許期限は 2040 年 5 月までとなる見通しです。なお、当社は OBP-301 を日本国内で 2025 年 12 月期に食道がん治療再生医療等製品として承認申請する計画です。

出願番号：特願 2021-519474

出願日：2020 年 5 月 14 日

発明の名称：腫瘍組織に腫瘍溶解ウイルスを投与する方法、及び投与用デバイス

本件による 2025 年 12 月期の当社業績への影響は軽微ですが、2040 年 5 月までの特許期限を通じて OBP-301 の知的財産権が強化されます。また、今回の特許は、食道がんに限定されず、かつ、広く腫瘍溶解アデノウイルスを対象としているため、本特許の用法で投与する限りにおいては OBP-301 の適応拡大や OBP-702 にも活用でき、競合の腫瘍溶解アデノウイルスの市場参入を様々な場面で抑制することも期待されます。

以上